



■発行所／(株)びゅ〜すまいる編集舗・みまもりプレス編集部  
 ■2022年5月19日発行号 ■TEL.03-6807-8287 ■発行者・編集人／八木澤 晃 ■毎月第3木曜日発行

## MIHARU

# 「シニア世代にこそスマホを——」講座事業を本格始動

シニア向け暮らしのパートナーサービス『もっとメイト』事業拡大図る

シニア向け暮らしのパートナーサービス『もっとメイト』を運営する MIHARU(ミハル/東京都渋谷区)では、シニア世代向けのスマートフォン講座事業を本格的にスタートする。シニア世代の困りごとで最も多いという「デジタル課題」の解決をこれまで以上に提供する意向がある。

『もっとメイト』は「シニアとその家族から、最も信頼される伴走者であり続ける」ことを目指し、「もっと豊かに、もっと自由に、もっとを叶えるベストパートナー」というコンセプトのもとで運営され、「シニア世代のお客様の相棒、として豊かで楽しい暮らしをサポートするサービスとして提供しております——(同社)」としている。

シニア世代が、同サービスを利用するきっかけで一番多いのが「デ

ジタル課題解決」だという。同サービスを利用し始めたシニア世代が持つスマホに対する印象は、「箱の中に入れてままになっている」「ボタンを押すだけで高額な請求がくる」「よくわからない通知がたくさんきてこわい」など消極的なものが多いとのこと。

同社では、そんなシニア世代のスマートフォン事情を代表とするデジタル課題を解決すべく、『シニ

アこそデジタルを』をキーメッセージとして、2021年11月から1都3県を中心に、地域行政、地域包括センター、社会協議福祉会などと連携した『シニア世代向けスマートフォン講座』を実施。今後は全国へ展開を広げて、さらに多くのシニア世代へ直接デジタル課題の解決をサポートすべく、本事業提供の拡大を目指す。



<https://motto-mate.com/lpsenior/>

シニアが元気になると  
日本が元気になる！

元気シニア倶楽部  
会員募集中!!

——入会費・年会費なし——

一般社団法人

日本 S 元気シニア総研

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿4-4-5 第3伊藤ビル4階  
tel.050-5533-3100 fax.03-5791-5859 Email. info@genkisenior.com



# ALSOKの『駆けつけオプション』サービス付きIPカメラ

HOME ALSOK 屋外対応無線式 IP カメラ『IP-C730』6月より提供開始／ALSOK

ALSOK（東京都港区）では、屋外、屋内問わず簡単に設置ができ、スマホアプリを通じてリアルタイム（ライブ）映像が確認できるIPカメラ『HOME ALSOK 屋外対応無線式 IP カメラ IP-C730』の提供を開始する。2022年6月1日（水）より。

『IP-C730』はWi-Fi接続のため配線工事不要。屋外でも屋内でも簡単に設置ができ、アプリを通じてリアルタイムで映像を確認できるほか、センサーが動きを検知するとスマホにプッシュ通知が届く。またマイク・スピーカー搭載

で、例えば子どもの帰宅時や留守番、高齢者の見守りなど、離れた場所からのコミュニケーションも可能。さらに、もしもの時に『ALSOK』の隊員が駆けつける、『駆けつけ依頼オプションサービス』（月額「1,100円（税込）」、1回の出勤につき「3,300円（税込）」／ALSOKステッカー付き）が用意されているのも大きな特徴。デイトナイト機能搭載で、夜間でも撮影が可能。IP65相当の防塵・防滴仕様。ネットワークカメラ特有の難しい設定もなく、ま

た、専用のブラケットにより簡単に設置できるという。動体検知時に10秒間録画され、本体に挿したSDカード（別売り）に保存される。カメラ本体は買い取り（価格は公式サイト参照）。スマホアプリの使用料は無料。



<https://www.alsok.co.jp>

## 新一年生に『ランドセルカバー』を寄贈

自治体から好評を得て9年連続贈呈／コープ共済連

コープ共済連（東京都渋谷区）では、全国の自治体と連携して、全国の小学校「5,933校」の新一年生に『ランドセルカバー 30万7,137枚』を寄贈したことを発表した。また、ランリュック等を使用している「1,555校」には、ランドセルカバーの代わりに『連絡帳袋 12万8,841枚』を寄贈した。（2022年3月29日時点の数値）

『CO・OP共済』キャラクター『コーすけ』のイラストが描かれた黄色地の

ランドセルカバーは、周囲の目を引き、遠くからでも目立つデザインに仕上げた。自治体や小学校からも、「カバーをつけることにより、子どもたちの存在がドライバーさんにはっきりと伝わることで、子どもの命を守ることに繋がっています」「とても目立つデザインで、子どもたちの交通安全への意識が高まります」など、好評を得ているという。コープ共済連では、「今後もランドセルカバー寄贈の取り組みを

通して全国の小学生を見守り、交通安全に寄与していきたいと考えております——」としている。



<https://coopkyosai.coop>

アイデアの**商品化**を推進する 発明事業化促進  
身近な**発明展**  
身近な**ヒント**

特許料  
3億円!

アイデア  
募集中

特許料  
6千万円!

発明家たちの  
登竜門

企業の  
新製品  
開発に



小さな創造を社会に活かす  
一般社団法人**発明学会**

<https://www.hatsumei.or.jp/>

## 情熱の発明商品・発掘プロジェクト

## 生活にやさしい『なるほどアイテム』を探せ

当コーナーでは、発明学会（東京都新宿区）のご協力をいただき「情熱の発明品」をご紹介します。子どもや高齢者、そして生活全般にやさしい「なるほどアイテム」をピックアップします！掲載された商品に興味のある方は下記までご一報ください。

## 第58回 カンタン5WAYの使い方で肩に腰に爆ラクバッグ！

## 『コアルーバッグ』



←クラウドファンディング挑戦中！  
— 2022年5月26日(木)まで —

リュックは背中が暑かったりモノの出し入れが不便。2WAYや3WAYバッグといった多機能バッグは、ベルトの付け替えなどの手間がかかる。これらの欠点をすべて解決するのが、「コアルーバッグ」です。

使い方は、左右の二重のベルトの間に腕を入れるだけ。バッグを体のどこに置くかによって、①普通のショルダーのようにも使えて、②リュックにも、③前抱えに持てるバッグにも、④メッセンジャーバッグ風にもなり、⑤パッドが前にくるリュック掛けにもなる。まるで魔法のように変幻自在な5WAYショルダーバッグです。

自転車に乗っている時や、込み合う電車の中で前に抱えたい時、荷物で重くなり、両肩でリュックスタイルで持ちたい時など、状況に合わせて、必要な形に瞬時に変えながら、好きなスタイルで使うことができます。テレビショッピングでも大ヒット中の商品ですが、さらに多くの方に商

品を知ってもらいファンを増やすためにクラウドファンディングにも挑戦中。アフターコロナのお出かけ需要の波に乗り、今後が楽しみな発明品です。（松野泰明）

無料プレゼント！ 発明ガイドブック

「発明ライフ入門」(希望者は下記まで)

〈この商品のお問い合わせは〉

一般社団法人 発明学会 発明アドバイザー 松野MP係 まで  
東京都新宿区余丁町7番1号 発明学会ビル  
☎ 03(5366)8811 y-matsuno@hatsume.or.jp

子育て中に、バッグの持ちづらさを痛感し、もつと使いやすい形は無いかと探し求めていた、池成姫（チーソンヒ）さん。

掛け「やおんぶ紐」のような、シンブルでマルチな使い方を活用するバッグのストラップの構造に関するアイデアでした。このアイデアをヒントに試作を重ねた末、完成したのが、ショルダーバッグの長

い紐を、真ん中にパッド、それを折り返す二重のベルトを左右に設けた、「ありそうで無かった画期的な構造」です。トートバッグは手がふさがる。ショルダーバッグは食い込んだり重く感じやすい。

ある日、稲妻のように降りてきたのは、日本の「たすき

# こちら『元気シニアビジネスアドバイザー!!!』

ブレンモンジュ・林野 均の「シニア`萬、遊記」第56回

## マンションの老朽化と住民の高齢化

高齢者の住宅についていろいろ調べていたら、こんな記事を見つけました。

「驚くデータがある。現代の分譲マンションでは、入居者の2人に1人が60歳以上であり、そのうち4割が70歳を超えているというのだ（平成30年度国土交通省のマンション総合調査）。」

平成30年（2018年）のデータなので少し古いですが、現在ではもっと高齢化が進んでいるでしょう。しかも住人だけではなく、マンションの老朽化も進んでいるといえます。

まず、マンションの老朽化についてですが、日本に最初の民間分譲マンションが建築されたのは1956年、66年前になります。国土交通省の資料によると、2018年時点でのマンションの住宅ストック総数

は約5,362万戸ですが、このうち1980年以前に建築されたマンション（築38年以上）の住宅ストックは1,160万戸存在し、21.63%を占めています。

マンションの耐用年数は47年となっていますが、これは減価償却費算出のために法的に定められた年数で、実際には約36年で建て替えられているケースが多いようです。

こんなマンションを取り壊すためには区分所有者全員の合意が必要となります。建て替えであっても5分の4の同意が求められます。そしてそこに高齢化問題がからんできません。

高齢の区分所有者が認知症になった場合、合意が得られませんか、合意したとしても認められません。それ以前に、認知症の高齢者がいるマンションでは、管理費の滞納、孤独

死、徘徊やゴミ屋敷など、さまざまな問題に発展していく可能性があります。

こういった対応は、管理組合の管理規約や細則に定められていると説明しても、書面で注意したとしても、解決が難しいのが現状のようです。輪番制で順番が回っても、管理組合の理事を任せることができないのは当然として、管理を管理会社に任せただけの場合に、修繕の際に余計な工事費を請求されたということも起きているようです。

高齢化社会が進行しつつある日本においては「建物の老朽化」と「住民の高齢化」という二つの`老い、にさらされているわけです。



\*画像はイメージです。

Author / 林野 均 (はやしのひとし)

プランニング・ブレン・モンジュ代表 / 一般社団法人 日本元気シニア総研研究委員

『元気シニアビジネスアドバイザー』資格を取得後、元気シニア総研研究委員として、シニア向け商品やサービスの取材を「自らのシニア目線」で精力的に行なっている。

<https://planningbrain.com>



デイサービス生活相談員ネットワークの  
『生活相談員』講座

ちっちゃいマメをおっきく育て、  
夢のある未来を創造します。

株式会社スリービーンズ

<http://3beans.jp>

Let's enjoy your senior life

元気なシニアライフを  
応援します！

<https://planningbrain.com>

シニアのためのコンシェルジュ  
プランニング・ブレン・モンジュ  
tel.090-3682-3310